



あなたのまちの「いいね！」



夏の暑い日、冷たい噴水の水に大はしゃぎ！どこから水が出てくるのかワクワクしながら遊んでいました。

田中海太さん
(姫小川町)
場所：桜井駅前公園
撮影日：7月25日



◀写真募集中！詳細は市HPへ

サークル紹介！「仲間・汗・生きがい」



フラダンスサークル「東部ロカリア」

公民館講座をきっかけに結成。メンバーは変わりながらも長く続いており、15年続けているメンバーも。現在は年1回の芸能まつりでの発表を目標に、日々練習に励んでいます。平均年齢は70代くらいですが、実年齢より若々しいです。フラダンスはゆったりした動きなので無理なくでき、姿勢も良くなります。長生きのためにも、楽しく続けていきたいです。

サークルDATA

毎月第1・3(木)午後1時15分～2時30分／東部公民館／費用は会場費を皆で負担する程度／入会希望は同館(☎(77)7881)へ



カナダの選手からプレゼントされたビクトリーブーケを持つ高木さん

高木佳子さん(市内在住)が東京2020オリンピック開会式でプラカードを持ち選手団を先導しました!!

高木さんは海外生活が長く英語が堪能なことから、2018年の世界女子ソフトボール選手権と今夏のオリンピックの2回にわたり、チームカナダの安城市での事前合宿で通訳を務めました。そしてこの夏、チームカナダとの関わりの集大成とするため、コカ・コーラ社が募集したオリンピック選手団先導の選考に応募し、見事選ばれました。



ベネズエラ選手団を先導する高木さん

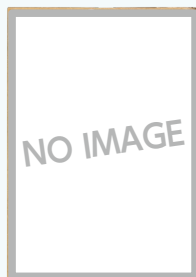
©Getty Images

「仲良くなったカナダの選手からは『ライバル国のプラカードは持たないでね』と言われました(笑)」。開会式ではベネズエラ等のプラカードを持ち、夢の舞台上で堂々と大役を務めました。カナダの選手には「ヨシコが開会式に出てくれて嬉しい!!」と喜んでもらえたそう。「一生に一度の貴重な体験ができ、感謝の気持ちでいっぱい。今後もカナダとの交流を続けて、地域とソフトボールの活性化に繋げていきたい」と語ってくれました。

今月のアンフォーレ司書おすすめ本

担当：河合潤

一からつくる！



一般向け

カレーライスを一から作る

前田亜紀／著
ポプラ社(2017刊)

体を動かし、汗をかき、素材からカレーライスを作る。野菜、スパイス、お肉、お米、塩、器、スプーンまで、すべてを「一」から作った9カ月間のドキュメントです。



子ども向け

ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ／作・絵
おのぞら ゆりこ／訳
福音館書店(1976刊)

子羊の世話をする男の子ペレが、子羊や近所の人たちの助けをかりて自分の新しい服を作り上げていきます。一つのものを作る大変さ、喜びを感じられるお話です。

問▶アンフォーレ課(☎(76)6111)